

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
心理学B	人間行動の科学	兼高 聖雄	1 年次後期
講義の目的	心理学は「行動の学」である。この授業では、心理学を利用して、人間のさまざまな行動のうち、最も多様でもっとも複雑な社会行動を分析する実例を紹介し応用的視点を養う。		
到達目標	社会現象を自分なりに分析できる方法論をみにつける		
講義内容	社会行動とは、他者と関わることを前提とした行動で、消費行動もコミュニケーションも社会行動である。社会の多様性や仕組みは、すべて人の社会行動を基盤としている。この授業では、心理学的に社会を分析し、受講者が現在あるいは将来、自らを取り巻く社会環境を分析するときに役立つ視点を与えることを目的とする。特に前期の心理学Aの履修は前提としないが、用語や理論の理解のためには受講しておくことがのぞましい。		
講義スケジュール	第1講	社会的行動とは	
	第2講	「伝わる・動かす」と心理学	
	第3講	コミュニケーションの心理	
	第4講	メディア表現と行動	
	第5講	説得的コミュニケーション	
	第6講	メディアが作る文化・習慣	
	第7講	噂と都市伝説	
	第8講	流行、普及、ヒットとその背景	
	第9講	広告とその手法	
	第10講	若者と広告	
	第11講	音楽とコミュニケーション	
	第12講	ポップカルチャーの分析	
	第13講	新しい消費行動と心理学	
	第14講	メディア環境と人々	
	第15講	理解度の確認と評価	
方法指導	通常の講義形式であるが、教材はすべてコンピュータで提示する予定。できるだけ双方向の展開を予定しているので積極的な授業参加と、しっかりしたノートテイキングが求められる。		
授業外学習	授業内で参考となるメディアおよび追加課題を提示する。		
成績評価方法	本試験（レポート）20%、平常点（授業内課題）50%、平常点（応用課題）30%		
ステキ	特に指定しない		
書籍参考	授業内で必要に応じて紹介		
事項記			